

新潟職能短大通信

自動車と マイクロコンピュータ



現在、自動車には、多くのマイクロコンピュータ(マイコン)が使用されており、その数は大衆車クラスであれば約四十個/台、高級車になれば約百個/台近くにもなると言われています。

マイコンが油圧制御ユニットに制御信号を送ることでブレーキ圧を下げてスリット状態から回復させるという仕組みです。自動車はますます進化していくと思われま

自動車のマイコンは、動く、止まるといった基本機能を制御するだけでなく、アンチロック・ブレーキ・システム(以下「ABS」という)、エアバッグ、安全運転支援システム、など安全、安心、快適といった機能にも用いられております。

それでは、ABSの仕組みについて簡単に説明したいと思います。

ABSは、ブレーキをかけた時のレーン逸脱の危険性を防止するためのシステムで、乗員の安全を守るため非常に重要です。図1のように車輪速度センサからの入力信号とブレーキ踏力入力信号に基づき、マイコンが「スリップ」を判断し、

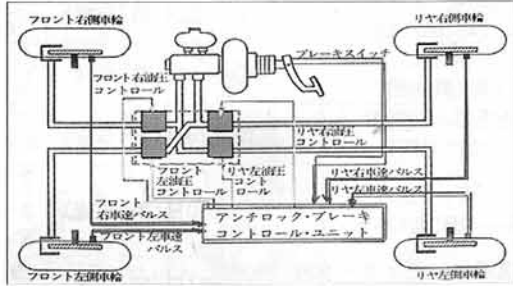


図1 アンチロック・ブレーキ・システム (ABS)

新潟職業能力開発短期大学校
制御技術科 上田英紀

大倉翁と新発田 (十五)

川瀬勝一郎

大倉組と土木事業

翁は維新後間もなく(明治六)大倉組商會を設立して外国貿易を開始したが、大倉組商會では他に「用達・造営を行う」とあり、活動の一部門として土木部門を設けている。大工の手始めは政府からの「宮城集治監」工事の請負であった。工事は明治十一年三月起工、明治十二年八月落成したが、総工費十五万円の大工事だった。明治初期の木造建築の貴重なものとして昭和四十八年まで存続した。続いて、樺戸集治監(明治十四)、鹿鳴館(明治十六)、東京湾浚渫工事(明治十七)等を請負っている。

た。

更に、二大有力会社の合併で技術力と資本力を持つ建設会社の要望あり、大倉組、藤田組の建築部門が合併し、明治二十四年四月、資本金二百万円で当時日本最大の「有限責任日本土木会社」を設立した。明治宮殿(明治二十)帝国ホテル(明治二十)歌舞伎座(明治二十二)日本赤十字病院などを請負っている。

この頃、会計法の施行、一般競争入札の実施、日本最初の恐慌などにより、「日本土木会社」は明治二十五年に解散した。「大倉土木組」は明治二十六年六月、大倉組の傘下で活動を開始した。

以上、明治前期の「大倉土木組」の動きを見たが、大倉組が明治の初期から国家的土木事業にかかわり、大きな仕事をしてきたことがわかる。

一市内各小・中学校指定靴販売店一

靴の ナベタニ

中央町本店/新発田市中央町1丁目 ☎22-2712
コモタウンビオ21店/新発田市舟入町3丁目 ☎23-8124

銘茶・のり・コーヒー豆

お茶の松屋

新発田市中央町3丁目6-15 ☎(0254)22-2122
新発田市舟入町3丁目(ウオロク コモ店) ☎(0254)26-6340

労災だけじゃものたりない!

24時間保障です。

あやめ 共済
一口 800円 から

詳しくは当所まで ☎22-2757